

平成27年度学校自己評価

学校の教育目標	自分の「成長」を追い求め、夢と志をもって将来をつくる *成長するためのABC(A:アクションを起こす、B:ベストを尽くす、C:チャレンジする)
重点目標	○ 中学時代に習得すべき知識・技能等の定着化（基盤軸） ○ 成長する仕組み作り（成長軸） ○ 学校経営力の強化（マネジメント軸）

評定判断基準	
A	達成率90～100%
B	達成率70～89%
C	達成率60～69%
D	達成率60%未満

重点目標	達成指標	達成指標評定	重点的取組	取組指標	項目評定	取組指標評定	総合評定	成果・課題及び具体的取組	担当部	
1 学期	中学時代に習得すべき知識・技能等の定着化（基盤軸） ○生徒に「授業に集中する態度」を身につけさせる。 ・「学級の集中雰囲気」を60%、「落ち着いて学習」を85%以上。 【基礎・基本の定着】B1 ○生徒に「基礎学力」を身につけさせる。 ・定期テストで下位層の生徒の割合を1割程度にする。（目標：下位層3割減、上位層3割増） ・次年度の全国学力調査で平均以下の項目を減少させる。 ・「家庭学習」を85%以上にする。 他：【思いやりの心の育成】、 【体力の向上】	B	○授業態度の指導を徹底し、授業規律の確保に取り組む。（「私語がない」、「離席がない」、「時間着席」、「忘れ物がない」等）	○授業を予定通りに進める。迅速な組織対応により、授業ストップを生じさせない。（全教職員、管理職）	A	A	B	<成果・課題> ○授業ストップゼロ達成 ●授業規律の徹底 ○学びタイム設定、自学ノートによる学習習慣づくり ○平均学力の向上(全国・県) ●下位層の底上げ ○少人数指導の実現 ○組織的学力分析運用開始 ○教室飛出す生徒大幅減少 ○学年特性に応じた改善 <追加取組>（予定） ①全体の学力向上 ・下位層分析による個対応 ・全国・県学力調査結果に基づく対策実施 ・毎月互見授業実施とレビュー ・授業改善の取組（5点セット推進、学力向上支援教員ノウハウ共有、管理職・学力向上教員・研究主任他授業観察等） ②2学年対応 ・「コ」の字机配置の休止 ・毎週の質問教室 ・保護者連携強化 等	教職員・管理職	
			○わかる授業をめざし、「学び合い」、「めあてまとめ」や「習熟・少人数・TT(一部)」等を実践するとともに、授業改善に取り組む。	○全教職員が参加する互見授業を毎月実施する。校長、教務・研究主任他を中心に授業観察。（全教職員、管理職）						B
			○学びタイムを設定し、基礎・基本の定着を図る。 ○昨年度の反省(一部下位層拡大)を踏まえ、テスト毎に分析・評価を組織的に行う。 ○家庭学習の時間を2時間確保する。	○校内研究会(授業改善方策を全員で確認)を学期に1回程度実施する。(研究主任、学力向上支援教員) ○学びタイムを毎日清掃の後、全員で10分間実施する。(学級担任) ○定期テスト実施後に学年、教務主任、研究主任、管理職で下位層等の状況を共有し、改善策を検討・実施する。(教務主任) ○担任が、毎日、生徒の自学ノートをチェックし、指導する。(学級担任)						A
	【到達イメージ】 ・学級：全学級で計画通りに授業が進んでいる ・生徒：「時間着席」、「離席がない」、「私語がない」、「忘れ物がない」の授業規律を守っている		【各チームの改善活動】 *学年特性に合った施策実施 上記の全体取組に加え、各チーム(①学校経営、②教務チーム、③研究チーム、④1学年チーム、⑤2学年チーム、⑥3学年チーム、⑦生徒指導チーム)毎に、学力向上(授業規律の定着、基礎・基本の定着)に向けて検証時期を明確にし改善サイクルを回していく。→「別紙」	A						
	【個別支援】G0 ○生徒一人ひとりの教育的ニーズに沿った個別支援を行う。 他：【良いとこ出し】、 【自律成長活動】	A	○個別支援が必要な生徒一人ひとりに応じた対応のしかたを検討し、関係者で共有、実施する。	○生徒指導会議を月1回実施し課題共有・対策検討等を実施する。(生徒指導主事) ○不登校対策委員会を月1回実施し共有・対策等を実施。(地域不登校防止推進教員) ○特別支援会議を月1回実施し共有・対策等を実施する。(特別支援コーディネーター)	B	B	A	<成果・課題> ○個支情報共有、対策実施 ○不登校関連人数の減少 ●不登校、問題対応は継続 <具体的取組> ・分掌会議の内容充実 ・不登校・問題行動フォロー100% ・外国人生徒対応 等	生徒指・不登・特支	
	【組織力向上】M0 ○各チーム力の向上を図る。 【総合力】M3 ○保護者の学校参観者数を世帯数の50%以上にする。 他：【高品質・効率的学校経営】、 【開かれた学校】	A	○分掌会議等を機能させ、チーム力の向上を図る。	○学年会議、朝会等を実施する。(学年主任) ○運営委、定例会議に加え連絡・共有の場(全体連絡会、職朝等)を設定 ○保護者に学校への参観を働きかける。(管理職、全教職員)	A	A	A	<成果・課題> ○各チームの改善活動 ○保護者の参観数拡大 ●学校公開情報の充実 <具体的取組> ・学校評価を基に更なる改善 ・公開情報充実等は継続	学年・管理職	